

第2次御前崎市空家等対策計画に係る

意見公募（パブリックコメント）の結果について

第2次御前崎市空家等対策計画について、パブリックコメントを募集した結果を下記のとおり報告します。ご協力いただきありがとうございました。

1 意見公募期間

令和7年12月26日（金）～令和8年1月26日（月）まで

2 閲覧方法

- 市ホームページ
- 市役所窓口（都市整備課）

3 募集の周知

- 市ホームページ
- 市公式LINE

4 意見数

1件（1人）

No.	意見（原文のとおり）	市の考え方
1	記載されている移住促進や移住体験施設の基盤整備のために、空家を地域資源として活用することは重要な視点だと共感します。今後、価値観や働き方は「一か所に定住する」ことから「複数の地域と関わりながら自分らしい暮らしを築く」方向へさらにシフトすると考えられます。実際に、リモートワークの普及に伴い、都市部在住者が週末や長期休暇を利用して地方に滞在する二拠点生活が増え、とくに海外のスペインの地方都市では「季節ごとに移動する住まい方」が一般化し、地域コミュニティの再生や観光の質向上につな	ご意見ありがとうございます。 ご提案いただいた経済的・心理的ハードルを下げるための施策は、大変重要な視点であると認識しております。 本計画の施策「移住者向け住宅としての空家の活用」では、「移住体験施設の整備など、移住者が安心して暮らせる住環境の整備と地域への定住」を目指し、住環境の整備に努めてまいります。 また、本計画の中で、「地域コミュニティの場としての提供」を掲げており、い

<p>がってるそうです。このような事例は、単なる流行ではなく、生活の拠点を複数持つことが一般化する未来の兆しであり、御前崎においても、空家を活用した「関わりの拠点」を整備することが、将来の地域の持続性に直結すると考えます。</p> <p>記載いただいているとおり、御前崎の一次産業や魅力的な自然環境に関心がある方に移住を「提案」することも重要ですが、同時に、移住にあたって障害となる経済的ハードルや心理的ハードルを下げるための施策も必要と考えます。そこで以下を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 公共交通機関利用料の補助(オンデマンド交通、バス、TAXI など) (2) 車の無料リース(とくに車を所持していない都心部の方の負担軽減) (3) 空家をリノベーションした移住体験施設の家賃補助 (4) 移住体験施設周辺の地域住民に対して、移住促進活動に対する理解・協力を得るための説明会 (5) 専属の世話役(困りごとの相談や地域との橋渡し)がつく等のサポート体制構築 <p>空家を活用し、多様な人が短期・中期・長期で御前崎と関わり、暮らしや仕事を試す流れを生み出すことが、地域の持続的な活性化に不可欠です。このような取り組みの積み重ねにより、海や産業、暮らし、挑戦が緩やかに結びついた次世代型の地域ライフスタイルが御前崎から生まれていくと考えます。空家を「住む場所」としてだけでなく、「人が関わり、挑戦し、成長していくための場」として捉える視点を、総合的な空家対策計画に反映していただきたいと思います。</p>	<p>ただいご意見の「人が関わり、挑戦し、成長していくための場」としても活用できるよう推進していきます。</p> <p>なお、いただきました、5つの提案につきましては、御前崎市空家等対策推進委員会で共有していき、今後、各部署で検討、対応していきたいと考えます。</p>
--	--